

「大国ロシアは過去になる」中国元大使が異例の発言

Russia Heading for Defeat in Ukraine—Former Chinese Ambassador

2022年5月12日（木）17時36分

ジョン・フェン



プーチンと同じくイエスマンに囲まれた独裁者の習近平の運命は Carlos Garcia Rawlins-REUTERS

<ソ連崩壊後に凋落の一途をたどってきたロシアに敗戦がとどめを刺し、中国は頼りになる盟友を失うと予測>

ロシアのウラジーミル・プーチン大統領がウクライナに送り込んだ部隊は敗北に向かって突き進んでおり、この敗戦がソ連崩壊後の凋落にとどめを刺し、大国ロシアは過去のものとなる——ウクライナの首都キーウ（キエフ）駐在の元中国大使がそう断言した。

この元大使は、2005～2007年にウクライナ駐在中国大使を務めた中央アジア専門家の高玉生。中国社会科学院主催の非公開のオンラインセミナーでの高の発言を、香港メディア・鳳凰衛視が伝え

た。

高は習近平（シー・チンピン）主席の前任者である胡錦濤（フー・チンタオ）の下で大使を務め、現在は政府の役職には就いていない。彼の編集済みの発言は5月11日に公開された後数時間で削除された。

だが、10年間中国で勤務した経験を持つ元米外交官のデービッド・カウヒグが中国のニュースを英訳して伝える自身のブログで、高の発言を紹介している。

それによれば高は、ロシアはウクライナやジョージアなどソ連崩壊後に独立した共和国を自国の属国のようにみなし、「領土と主権をたびたび侵害してきた」と述べた。

巨額の戦費を負担しきれず

ウクライナの世論は、かつては親ロ派と親欧米派に真っ二つに分かれていたが、2014年のロシアによるクリミア併合後は親欧米感情が高まったと、高は指摘する。

「さらに今回の侵攻で、ウクライナの状況は一変した。ウクライナの人々は一丸となり、ロシアに抵抗し、国を守ろうとしている」ロシアは皮肉にもウクライナを力づくで奪おうとして、「完全に失ったようなものだ」。

侵攻後のロシアの戦績に関する高の評価はそれ以上に手厳しい。プーチンとその取り巻きは「軍事、経済、政治、外交、世論、プロパガンダ、情報」の領域で展開される現代のハイブリッド戦争の戦い方がよく分かっていない、というのだ。

「ロシアが電撃作戦に失敗し、短期間で勝利できなかったことが、ロシアの敗北の始まりを告げた」と、高は言う。ロシアには「1日に何百億ドルもの戦費が掛かるハイテク戦争」を続ける財政的余裕はない。

軍事力と経済力ではロシアのほうがはるかに有利なはずだが、ウクライナの抵抗と西側の効果的な支援が国力の差を帳消しにしたと、高は見る。

次のページ [ロシアが降参するまで戦争は続く](#)

1

2

3

[次のページ](#)

「大国ロシアは過去になる」中国元大使が異例の発言

Russia Heading for Defeat in Ukraine—Former Chinese Ambassador

2022年5月12日（木）17時36分

ジョン・フェン

加えて、ロシアの兵器と軍事的コンセプトがアメリカやNATOと比べ「世代的に遅れている」ことが、ロシア軍の不利をいっそう際立たせている。

「ロシアが最終的に敗北するのは時間の問題だ」と、高は言い切る。

「ソ連崩壊後、ロシアは凋落の一途をたどってきたが」、ロシアの支配層はこの流れを変えられなかった。「西側の経済制裁で、今やこの流れが加速している。制裁はロシア経済の多くの部門を痛めつけている。プーチンの指導下で、ロシアは再生し、経済が活気づいたと言われてきたが、それは嘘だ。ただの幻想にすぎない」

今後、ロシアはクリミアと東部ドンバス地方を死守しようとするだろうし、ウクライナは全ての領土の奪還を目指す予想されるため、戦闘は「激烈を極める」と、高はみる。

「アメリカ、NATO、EUは繰り返しプーチンを敗北させる決意を表明している。つまりロシアが負けて、痛い目にあうまで、戦争は終わらないということだ」

中口の「限界なき」友好関係の行方は

その結果、旧ソ連圏にとどまらず、さらにその周辺までロシアの「息の掛かった地域」にしようとするプーチンの野望はあえなくついでることになる。

「ウクライナ戦争の敗北で、大ロシア復活の夢は完全に断たれる」そしてウクライナは「偉大なヨーロッパの家族の一員になる」と、高は言う。

高はこの発言で、中国の立場とウクライナ戦争後の中国外交の行方については一切触れていない。

今年2月、北京冬季五輪の開催前に会談した習とプーチンは、中口の友好関係には「限界がない」と高らかに宣言した。

ロシア軍の侵攻開始からこの11週間、中国は外交面ではロシアを擁護する姿勢を見せつつも、主として口先だけの擁護にとどまり、今のところ物質的な援助は行っていないと、米政府筋はみている。

次のページ 独裁者の判断を狂わすもの

前のページ

1

2

3

次のページ

「大国ロシアは過去になる」中国元大使が異例の発言

Russia Heading for Defeat in Ukraine—Former Chinese Ambassador

2022年5月12日（木）17時36分

ジョン・フェン

高が予想するように、ウクライナ戦争後にロシアが著しく弱体化し、国際的に孤立すれば、中国は頼りになる盟友を失うことになる。中ロが結束して西側の民主主義陣営に対抗する権威主義的な陣営を構築すると見られていたが、この構想もつぶれる。

プーチンとの親密ぶりをアピールしてきた習の対ロ外交は、ロシアのウクライナ侵攻で裏目に出た。今後戦闘が長引けば、ロシアに対する国際社会の非難が中国にまで向けられる恐れがあると懸念する声も聞かれる。

それと同時に、習もプーチンと同じ状況に置かれていることを警戒する声もある。つまりイエスマンに囲まれ、地政学的な環境の変化について「耳の痛い助言」をする者はおらず、偏った見方を補強する情報しか得ていない、という状況だ。

<関連記事>

- ・ [プーチンに「熱狂」し、ウクライナ侵攻を「手本」と見なす中国人の心理](#)
- ・ [人民日報がウクライナ危機に乗じた反米キャンペーンを開始](#)

※画像をクリックするとアマゾンに飛びます

2022年5月17日号（5月10日発売）は「[泥沼のウクライナ](#)」特集。戦争は長期化必至。ロシア弱体化の賭けに出たアメリカと西側が、ロシアとの「新冷戦」に簡単に勝てない理由

[前のページ](#)

1

2

3